

I. 次の楽曲はブラームス作曲、弦楽四重奏曲 第2番 第2楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(3点×8=24点) (音程)

① 長3度	② 減4度	③ 完全5度	④ 短2度
⑤ 増9度 (oct増2度)	⑥ 完全8度	⑦ 増4度	⑧ 短7度

(転回音程) (3点×4=12点)

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)

(a) ⑦を下属音とする長音階

(b) ①を属音とする長調の第VI音を主音とする和声短音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いず右の五線に主音から上行形で書きなさい。(3点×2=6点) 旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(c) ⑦を主音とする旋律短音階

(d) ②を導音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- (1) 種類 増三和音 転回形 第1転回形 (2) 種類 長三和音 転回形 第1転回形  
 (3) 種類 減七の和音 転回形 基本形 (4) 種類 属七の和音 転回形 第2転回形  
 (5) 種類 短三和音 転回形 基本形

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[ ]に調名を、{ }に和音の種類を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。(a～c: 2点×4=8点、d: 1点×7=7点)

- a. (1)の和音の第五音を下属音とする短調の《 平行調 》は長調である。  
 b. (2)をVI度の和音とする調の属調は[ 短調 ]である。  
 c. (5)を下属和音とする調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を属調とする調の平行調は[ 変ホ長調 ]である。

4. 長音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。  
 I { 長三和音 } II { 短三和音 } III { 短三和音 } IV { 長三和音 }  
 V { 長三和音 } VI { 短三和音 } VII { 減三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。(1点×7=7点)

piacevole	9
Vivace	4
marziale	6
con ped.	13
agitato	3
Tempo primo	11
divisi	1

- 意味: 1. 分けて 8. 一人で  
 2. もとの速さで 9. 愛らしく  
 3. せきこんで 10. 華やかに  
 4. 活発に速く 11. 最初の速さで  
 5. 急速に 12. 歌うように  
 6. 行進曲風に 13. ペダルを使用して  
 7. 重々しく 14. ペダルを使用しないで

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(2点×6=12点)

A

B

C (い) (ろ)

(は) (に)

- A イ長調 B へ短調  
 C (い) へ長調 (ろ) ト短調  
 (は) 変ロ長調 (に) へ長調